

ディペンダビリティ（総合信頼性）を推進するDEOS自動車応用部会設立シンポジウム

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

自動車、医療機器、航空機などの組み込み/IoTシステムの発展・普及が進む中、それらも安全性、信頼性やセキュリティ等を総合的に維持・向上させるディペンダビリティ技術に注目が集まっています。

2013年に一般社団法人として設立されたディペンダビリティ技術推進協会(DEOS協会)では、ディペンダビリティを維持・向上するための技術開発と国際規格化を進めて参りました。そして2017年4月に、協会が有する成果物を自動車分野を中心とする産業界への応用・普及を推進するために、自動車応用部会を設立しました。

本シンポジウムでは、ディペンダビリティに関する最新動向をご紹介するとともに今後取り組むべき課題について自動車応用部会の活動計画を踏まえてご紹介いたします。自動車分野の方にももちろん、様々な分野の方にもお楽しみ頂ける内容ですので、是非お気軽にご参加ください。 敬具

日時	2017年6月22日(木) 13:00~18:00 (12:30 受付開始)
主催	DEOS協会自動車応用部会
協賛	名古屋大学 大学院情報学研究科 附属 組み込みシステム研究センター PCIソリューションズ(株)・アイコクアルファ(株)
後援	独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
参加費	シンポジウム：参加費無料 懇親会：1,000円(税込)
定員	60名
会場	名駅・ミッドランドスクエア オフィスタワー5F 会議室A 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号

プログラム

13:00 ~ 13:10	ご挨拶
13:10 ~ 13:40	特別講演 機能安全ISO26262を取り入れた車載製品の安全設計強化活動の紹介と最適化のための課題 株式会社デンソー 品質管理部 システム品質保証室 機能安全課 機能安全 担当次長 森 広樹様 デンソーでは機能安全ISO26262を早期に取り入れて製品の安全性を確実にするための社内体制の整備を実施し、機能安全に準拠した開発や機能安全アセスメントの定着化を実施しました。現状はさらに最適化のためツール導入など改善活動を引き続き実施中で、その活動と現状の課題について紹介いたします。
13:40 ~ 14:20	基調講演 自動車応用部会への期待 一般社団法人ディペンダビリティ技術推進協会理事長 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 ファウンダー&エグゼクティブアドバイザー 所 眞理雄様 DEOSのこれまでの活動成果と基本コンセプトを概説し、自動車応用部会への期待についてお話します。
14:20 ~ 14:50	D-ADDによるIEC62853案の理解 株式会社Symphony 代表取締役 永山 辰巳様 オープンシステムディペンダビリティ(IEC62853案)は、いよいよIEC国際委員(IEC/TC56)による投票段階に入り、FDIS(Final Draft International Standards/最終国際規格案)の発行に向けて鋭意活動している(担当は、DEOS協会標準部会の神奈川大学木下教授、武山研究員)。IEC62853案は、JST/CREST研究チームから生まれており、その中核はDEOSプロセスである。本講演では、IEC62853案の概略を解説し、自動車関連のソフトウェア開発プロセスに対して、どのような貢献、あるいは効果が有るのかを示す。具体性を示すために、DEOSプロセスにおいてプロセス制御の役割を持つD-ADD(合意記述データベース)を用いて実業務をこなすのと、どのように高信頼性開発が担保され、それらがどのようにIEC62853案と対応しているかを紹介する。
14:50 ~ 15:20	D-ADDの実践的活用事例 PCIソリューションズ株式会社 執行役員 研究開発事業部 事業部長 清宮 幸夫様 サービスに必要なディペンダビリティの定量的な追及の為、D-ADDにて実現できる事について紹介します。
15:20 ~ 15:35	自動車応用部会の紹介 名古屋大学大学院情報学研究科 附属組み込みシステム研究センター 助教 松原 豊様 DEOS協会では、協会が保有する成果物の、主に自動車分野への応用検討・普及を推進するために、自動車応用部会を設立し、平成29年4月1日から活動を開始いたしました。本講演では、自動車応用部会の目的と具体的な活動内容をご紹介します。
15:35 ~ 15:50	休憩

15:35 ~ 15:50	休憩
15:50 ~ 16:20	<p>組込み開発現場課題とディペンダビリティ/オープンディペンダビリティの最新の動向 アイシン・コムクルーズ株式会社 技術企画部 主査 鈴木 延保様</p> <p>信頼性、安全性、セキュリティ、保守性、顧客満足度等を総合信頼性(ディペンダビリティ)と総称する流れが本格的になってきた。ディペンダビリティは慣れ難い言葉であり、又わかり難い。それらと身近で切迫する現場課題との関係を”より高信頼な開発を、より効率的に高速に開発するために、何が課題で、何が解決策と認識されているのか?”ととらえて現場の言葉で俯瞰を試みました。</p>
16:20 ~ 16:50	<p>開発プロジェクト運用支援ツール eWeaverの DEOS 自動車応用部会への期待 イーソル株式会社 事業推進室 機能安全リーダー 宿口 雅弘様</p> <p>eWeaverはチケット駆動を課題管理とプロセス運用に応用しプロジェクト運用支援を行うツールであるが、その入力情報である各種の要求情報の形成を外部に委ねている。一方、DEOSが提供するD-ADDは合意形成支援を主たる機能としており eWeaverと補完関係にある。本講演ではeWeaverが提供するプロジェクト運用方式やアジャイル手法への取組みを紹介したのちに、要求情報の適切な合意形成に向けてD-ADDとの連携への期待をお話する。</p>
16:50 ~ 17:20	<p>ソフトウェア開発プロセスを統合管理する品質マネジメントシステムCS Qompassによるプロジェクト管理の課題に対するアプローチと自動車応用部会への期待 株式会社シーイーシー デジタルエンジニアリング事業部 原口 学様</p> <p>プロジェクト管理の重要性とCS Qompassを利用したプロジェクト管理に対するアプローチと今後のロードマップ、自動車応用部会を中心とした取り組みに対する今後の期待について講演いたします。</p>
17:20 ~ 17:50	<p>QMSとD-ADDを組み合わせた、ソフトウェア開発プロセス改善事例 アイコクアルファ株式会社 MS事業部 MESG リーダー 酒井 一治様</p> <p>QMSに基づいたソフトウェア開発プロセスとD-ADDの組み合わせによる、自社開発ソフトウェアの不適合を減らすための改善事例について、独自開発したトレーサビリティの仕組みを交えて紹介します。</p>
17:50 ~ 18:00	クロージング QA等

日時

2017年6月22日(木) 13:00~18:00
(12:30受付開始)

会場案内

名駅・ミッドランドスクエア
オフィスタワー5F会議室A
名古屋市中村区名駅四丁目7番1号

アクセス

各線「名古屋駅」から徒歩5分
<http://www.midland-hall.com/access/>

<個人情報のお取り扱いについて>

シンポジウムのお申込みにより、ご提供頂いた個人情報は、DEOS協会および協賛企業がイベント/セミナー/製品/サービスに関するご案内を行うために利用させていただきます。

お問い合わせ先： DEOS協会自動車応用部会 シンポジウム事務局(担当：アイコクアルファ株式会社 酒井一治)
TEL： 052-232-2666 e-mail：msinfo@aikoku.com

● お申し込み先

<http://www.aikoku.co.jp/ms/event/>

ロケーション



懇親会

「DEOS自動車応用部会設立シンポジウム」終了後に、懇親会を予定しております。懇親会はミッドランドスクエア4Fにて会場を準備しております。講演者の皆様と意見交換等をしていただく機会ですので、是非ご参加ください。

時間

18:00~20:00

参加費

1,000円(税込)当日受付にてお支払いください。(領収書発行)

会場

PIZZERIA ISOLA (ピッツェリア イゾラ)
名古屋ミッドランドスクエア店 ミッドランドスクエア4F
TEL 052-527-8820
<http://www.isola.st/nagoya/index.html>

